

【リニューアルコース】 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
F1-1	技能五輪国際大会コミュニケーションの実践_A	令和8年6月29日（月）～30日（火）	60	2
開催会場	外部会場（調整中）	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい 及び 到達目標	大会本番で、通訳者を介して、どのように自分の意見を伝えれば良いのか、どのように質問すれば満足のいく回答をもらえるのか、など実践的なコミュニケーション・スキルを習得します。また、他国エキスパート（外国人外部講師）とのコミュニケーションのシミュレーションを行います。 （到達目標） ・通訳を通じたコミュニケーションが円滑にできる。			
最低限 必要な知識	技能五輪国際大会に関する基礎的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1 第47回技能五輪国際大会の最新状況 （1）技能五輪国際大会の最新情報アップデート （2）大会参加に向けての準備 （第47回技能五輪国際大会の最新状況と競技課題・採点基準等の準備状況を解説します）		1 H	5 H
	2 通訳者を介したコミュニケーション・トレーニング （1）ディスカッション・シミュレーション （2）質問・シミュレーション （エキスパートが大会で直面する問題事例を基に、通訳者を介して、それをどのように解決してけば良いのか、手順と方法について習得します。また、海外エキスパートにどのようにすれば自分の意見を伝えることができるのか、シミュレーションしながら習得します）			
	3 通訳を通じたコミュニケーション法の実践 （1）採点項目・基準に関する議論 （2）採点の実施 （3）競技課題・職種定義に関する議論 （エキスパート・ミーティング、選手とエキスパートのコミュニケーションをシミュレーションし、通訳を通じたコミュニケーションや本番に向けた課題を洗い出します。エキスパート役のネイティブ・スピーカーを各グループに配置し、共通のテーマに沿って議論を行う形のトレーニングです）			6 H
		1 H	11 H	
リニューアル の概要 及びアピール ポイント				
研修成果が 活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	菊池拓男（情報通信ユニット/技能DXユニット） 半田純子（技能DXユニット/国際・地域支援ユニット） 内田夕津, 鈴木辰一, 河野友香（国際・地域支援ユニット） 外部講師			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト (予定)				